

2022年7月15日

学生各位

事務局 教務・学生チーム

2022年度秋学期「財務管理論」 履修希望者募集について

2022年度秋学期開講科目「財務管理論」(経営学科2年次展開科目、4単位)について、下記のとおり履修希望者を募集しますので、受講を希望する学生は、事務局備え付けの申込シートに、「氏名」と「学籍番号」を記入してください。

記

1 開講日程

9月1日(木) 1~4限、9月2日(金) 1~4限、
9月3日(土) 1~3限、9月9日(金) 1~4限、
9月10日(土) 1~4限、12月25日(日) 1~4限、
12月26日(月) 1~4限、12月27日(火) 1~3限、

全30回講義

2 申込受付期間

7月15日(金) 9時00分~ 7月25日(月) 17時00分

3 注意事項

- ①本申込は、「履修登録」とは異なります。履修登録は、別途秋学期の履修登録時(9月23日(金)~9月29日(木))に忘れずにおこなってください。
- ②本科目を履修する場合、12月21日(水)~12月27日(火)の集中講義期間に開講される他の科目を履修できない可能性がありますので、ご注意ください。

〔科目名〕 財務管理論	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 展開科目
〔担当者〕 Takahiko Ochiai 落合 孝彦	〔オフィス・アワー〕 時間: 第 1 回の授業でお知らせします 場所: 教室／非常勤講師控室など	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>本科目は経営学科の展開科目として位置づけられていますが、その授業内容は大きく分けて3つのパートから構成されています。第1部(第1回～第5回)は、イントロダクション及びその後の授業内容の基礎となる財務分析の内容が中心となります。</p> <p>この内容を受けて、第2部(第6回～第23回)では「投資価値」の評価、さらには「調達」「分配」の基礎的な考えを抑えつつ、金融経済的な資本市場理論やエージェンシー理論を学びます。この第2部が本科目の中核的な内容となります。</p> <p>第3部(第24回以降)は、第2部の内容を受けつつも、財務論に関連する現代的なトピックを扱います。学習内容を現実世界のトピックと関連付けることにより、学んだ知識を現実世界にリンクさせて考える姿勢を身に付けてもらうことが、本科目の最終的な狙いとなります。</p> <p>なお本科目の内容は「ビジネス会計検定試験」や「証券アナリスト」の試験内容とも関わりがあります。</p>		
〔授業科目群・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>本科目は、金融市場（とりわけ株式市場）との関わりを踏まえ、上場会社の経営において必須となる財務の知識を扱う「経営学科の展開科目」と位置づけられています。ただし、「株主の富最大化」を企業目的の上位に置いて学習内容が体系化されていますので、この点については経済学（企業金融論）の影響を受けています。くわえて、企業価値計算のためには、利益やキャッシュフローといった会計データについての理解も不可欠となりますので、会計学との関わりも比較的強固である点が本科目の特徴となります。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>【中間目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ROE を中心とする収益性分析の体系を理解する。 ●価値計算の基礎となる考え方を理解する。 ●社債投資の基礎、株式投資と財務指標の関連を理解する。 ●現代ポートフォリオ理論の基礎を理解する。 <p>【最終目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資本構成と企業価値の関連について理解する。 ●配当の支払いと企業価値の関連について理解する。 ●コーポレート・ガバナンスの議論が活発化している背景について理解する ●ESG 投資が活発化している背景について理解する ●フィンテックに関する基礎知識を理解する。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>・受講生からの指摘の中には、好意的な意見があると同時に辛口な意見もあります。具体的に言えば「早口で分かりにくい」、「板書が見づらい」等がそれに該当します。2019 年度秋学期以降、教科書を使用しレジュメも一新しました。機材を効果的に用いて「分かりやすい」「視覚に訴える」授業を行うよう、可能な範囲での改善を順次進めます。</p>		
〔教科書〕 境陸／落合孝彦【編著】(2019)『グラフィック経営財務』新世社。		
〔指定図書〕 指定しません。		
〔参考書〕 高橋文郎(2001)『実践コーポレート・ファイナンス』ダイヤモンド社。		

<p>〔前提科目〕 「会計学基礎論」、「財務分析Ⅰ」</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ① 確認小テスト①(評価ウエイト:40%) ② レポート (評価ウエイト:20%) ③ 確認小テスト②(評価ウエイト:40%) ※得点ベースでの評価については次の[評価の基準及びスケール]で確認してください。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕 評価 A・・・80 点以上 評価 B・・・80 点未満～70 点以上 評価 C・・・70 点未満～60 点以上 評価 D・・・60 点未満～50 点以上 評価 F・・・50 点未満</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 1. 次の 2 点に関わる行為は厳に慎んでください。注意をしても聞き入れられない場合、その学生の本科目の成績を“F”とすることもありえます。 ①授業中の食事 ②授業進行の妨害 2. 前回授業の復習や新規トピックの紹介が影響し、授業進行がシラバス通りにならないこともありえます。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第 1 回	<p>テーマ(何を学ぶか):経営財務の意味と役割 内 容:経営機能、財務機能、経営者の財務とは? 教科書:第 1 章</p>
第 2 回	<p>テーマ(何を学ぶか):収益性分析① 内 容:ROE に基づく収益性分析の体系 教科書:第 2 章</p>
第 3 回	<p>テーマ(何を学ぶか):収益性分析② 内 容:ROA 分解による収益性分析の深化 教科書:第 2 章</p>
第 4 回	<p>テーマ(何を学ぶか):キャッシュフロー(CF)計算書① 内 容:CF 計算書導入の目的と背景/CF 計算書の内容/CF 計算書の作成 教科書:第 3 章</p>
第 5 回	<p>テーマ(何を学ぶか):キャッシュフロー(CF)計算書② 内 容:CF 計算書の読み方/CF を用いた財務指標 教科書:第 3 章</p>
第 6 回	<p>テーマ(何を学ぶか):投資の評価① 内 容:単利と複利/将来価値と現在価値/正味現在価値と内部収益率 教科書:第 4 章</p>

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):投資の評価② 内 容:回収期間法/会計的収益率法/収益性指数法/投資評価の実態</p> <p>教科書:第4章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):債券の評価① 内 容:債券の定義と種類/債券の理論価格</p> <p>教科書:第5章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):債券の評価 内 容:債券の利回り/複利最終利回り/債券投資のリスク</p> <p>教科書:第5章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業価値の評価① 内 容:配当割引モデル(ゼロ成長モデルと一定成長モデル)/配当成長率とROEの関係</p> <p>教科書:第6章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業価値の評価② 内 容:株式投資指標(PER/PBR/DY/PSR)の説明</p> <p>教科書:第6章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業価値の評価③ 内 容:FCF/FCF割引モデル/ターミナル・バリュー/EBITDA</p> <p>教科書:第6章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):資本資産評価モデルと資本コスト① 内 容:個別証券のリスクとリターン推計/投資家のリスクに対する態度</p> <p>教科書:第7章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):資本資産評価モデルと資本コスト② 内 容:分散投資によるリスク低減効果/共分散/相関係数/個別リスク/市場リスク</p> <p>教科書:第7章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):確認小テスト① 内 容:第1回~第14回(詳細は授業で説明します。)</p> <p>教科書:第1章~第7章</p>
第16回	<p>テーマ(何を学ぶか):資本資産評価モデルと資本コスト③ 内 容:証券特性線/ベータ/無リスク資産の利子率/リスク・プレミアム/証券市場線</p> <p>教科書:第7章</p>
第17回	<p>テーマ(何を学ぶか):最適資本構成① 内 容:我が国上場企業に見る資本構成の課題/財務レバレッジ問題</p> <p>教科書:第8章</p>
第18回	<p>テーマ(何を学ぶか):最適資本構成② 内 容:資本構成の伝統理論/資本構成のMM理論(完全資本市場)</p> <p>教科書:第8章</p>
第19回	<p>テーマ(何を学ぶか):最適資本構成③ 内 容:資本構成のMM理論(不完全な資本市場)/倒産リスクと資本構成/複数の最適資本構成</p> <p>教科書:第8章</p>

第20回	<p>テーマ(何を学ぶか):配当政策と自社株買い① 内 容:配当政策の歴史/配当政策の理論</p> <p>教科書:第9章</p>
第21回	<p>テーマ(何を学ぶか):配当政策と自社株買い② 内 容:配当政策/自社株買いの現状について</p> <p>教科書:第9章</p>
第22回	<p>テーマ(何を学ぶか): エージェンシー理論① 内 容:所有と経営の分離/エージェンシー理論の諸仮定/情報の非対称性</p> <p>教科書:第10章</p>
第23回	<p>テーマ(何を学ぶか): エージェンシー理論② 内 容: エージェンシー理論と資本構成/エージェンシー理論と配当政策</p> <p>教科書:第10章</p>
第24回	<p>テーマ(何を学ぶか): コーポレート・ガバナンスと経営者報酬① 内 容: コーポレート・ガバナンスの定義/我が国におけるコーポレート・ガバナンス改革の歩み</p> <p>教科書:第11章</p>
第25回	<p>テーマ(何を学ぶか): コーポレート・ガバナンスと経営者報酬② 内 容: コーポレート・ガバナンス及びガバナンス規制の枠組み、経営者報酬</p> <p>教科書:第11章</p>
第26回	<p>テーマ(何を学ぶか): スチュワードシップ・コードとESG 投資① 内 容: ESG 投資とは/スチュワードシップ・コードの我が国への導入</p> <p>教科書:第12章</p>
第27回	<p>テーマ(何を学ぶか): スチュワードシップ・コードとESG 投資② 内 容:機関投資家のエンゲージメント/ESG 投資の状況</p> <p>教科書:第12章</p>
第28回	<p>テーマ(何を学ぶか): デリバティブ① 内 容: デリバティブの意味と役割/先渡</p> <p>教科書:第13章</p>
第29回	<p>テーマ(何を学ぶか): デリバティブ② 内 容:コールオプション/プットオプション</p> <p>教科書:第13章</p>
第30回	<p>テーマ(何を学ぶか):確認小テスト② 内 容:第16回～第29回(詳細は授業で説明します。)</p> <p>教科書:第7章～第13章</p>
試験	<p>期末試験の日程は掲示物で確認してください。試験範囲は授業の中で説明します。</p>